

II. 事業の概要

【事業計画の進捗・達成状況ならびに主な教育・研究概要】

1. 教学関係（昭和音楽大学・同短期大学部）

- 1) 海外研修
- 2) 招聘教授
- 3) 芸術特別研究

2. 演奏会関係

- 1) 演奏会
- 2) テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ活動報告
- 3) 生涯学習講座

3. 研究所関係

- 1) オペラ研究所
- 2) バレエ研究所
- 3) 舞台芸術政策研究所
- 4) 歌曲研究所
- 5) アートマネジメント研究所
- 6) 音楽療法研究所
- 7) 音楽教育研究所
- 8) ピリオド音楽研究所

4. 附属教室関係

- 1) 附属音楽・バレエ教室
- 2) 附属ピアノアートアカデミー

5. 2021年度入学試験報告

6. 専任教職員異動関係

【中長期計画】

- 学校法人東成学園ビジョン・基本戦略の報告
- 財務に関する中長期計画の報告

海外研修

1. イタリア研修

日本で学んだヨーロッパの文化について、現地の社会と芸術に直接触れることにより更に見識を深め、実技レッスンやアンサンブル等の授業を本学研修所で集中的に受講することにより、学生各自の感性・芸術性等の向上を目的として実施している。

2020（令和2）年度は、新型コロナウイルスの影響により中止、もしくは日本国内における代替研修により実施した。

海外研修 I（必修）	2020（令和2）年度 実績	参加人数
長期A団（ピアノ）	日本国内で代替研修を実施	13名
長期B団（声楽）	日本国内で代替研修を実施	29名
海外研修II（選択）		
ヨーロッパ実技	中止	
海外研修IV（選択）		
ヨーロッパ見学	中止	

なお、2019(令和元)年度、新型コロナウイルスの影響により延期となった長期B団（声楽）の必修研修については、2020（令和2）年度、日本国内において、代替研修として実施した。

※ **新型コロナウイルスの影響により代替研修を行ったため、イタリア研修所の利用はなかった。**

2. 英語研修（必修）

「英語研修」はアートマネジメントコースおよび舞台スタッフコース必修科目として実施している。

2020（令和2）年度は新型コロナウイルスの影響により、例年実施している福島県における語学研修施設での実施を変更し、本学内で劇団ホワイトホース・シアターによる英語演劇ワークショップを英国とのリモートにより実施した。

3. アートマネジメント・舞台スタッフヨーロッパ研修（選択）

例年アートマネジメントコースおよび舞台スタッフコースの選択科目「海外研修II」として、また、大学院修士課程の「海外研修V」（個人研修）、「海外特別研修①②」として合同で実施している。イギリスとイタリアの芸術関連施設や美術館等を訪問・見学し、現地の舞台関係者による特別講義を実施している。

2020（令和2）年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

4. バレエロンドン研修（選択）

例年、大学・短大のバレエコース合同で「海外研修Ⅱ」、「海外研修Ⅴ」の選択科目として実施している。2020（令和2）年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

5. ミュージカル実技研修（選択）

例年、ニューヨークの総合ダンススクール「ステップス」及び「BDC」でダンスのレッスンを中心に実施している。2020（令和2）年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

6. ニューヨーク見学研修（選択）

例年、「海外研修ⅡD」として開講し、ミュージカル実技研修「海外研修ⅡC」と同日程でニューヨーク市内見学を中心とした研修として実施している。2020（令和2）年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

2019年度履修生対象

海外研修Ⅰ（声楽3年生）代替課題

内容	担当
ベルンハルト・ケレス氏による特別講座（遠隔授業） 「クラシック音楽家のためのセルフマネジメントについて考える」	ベルンハルト・ケレス氏 石田 麻子 教授 安達 真理 氏 柴山 昌宣 准教授
声楽 遠隔実技レッスン2回（一人30分間+聴講60分間）通訳・伴奏者あり	アヌンツィアータ・リア ランティエーリ 先生
声楽 遠隔実技レッスン2回（一人30分間+聴講60分間）通訳・伴奏者あり	レーリオ・カーピルーピ 先生
★第1回 特別講座+ワンポイントレッスン（遠隔）講師：L.ポニツジャ 【重要】この回のワンポイントレッスンに指名された学生は、事前に1曲歌っている動画を作成し、YouTubeに「限定公開」でアップロード後、11/27までに指定フォームから提出すること。L.ポニツジャ先生が、前以て視聴します。	レオノール・ポニツジャ 先生
★第2回 特別講座+ワンポイントレッスン（遠隔）講師：キム・コヌ 【重要】この回のワンポイントレッスンに指名された学生は、事前に1曲歌っている動画を作成し、YouTubeに「限定公開」でアップロード後、11/27までに指定フォームから提出すること。キム・コヌ先生が、前以て視聴します。	キム・コヌ 先生
★第3回 特別講座+ワンポイントレッスン（遠隔）講師：R.ルピナッチ 【重要】この回のワンポイントレッスンに指名された学生は、事前に1曲歌っている動画を作成し、YouTubeに「限定公開」でアップロード後、11/27までに指定フォームから提出すること。R.ルピナッチ先生が、前以て視聴します。	ラッファエッラ・ルピナッチ 先生
試演会・成果発表会（伴奏者あり）受講した曲を歌うこと。 【重要】伴奏譜は、各自で必ず持参すること。	感染対策のため成果発表会は中止し 下記に変更します。 【映画鑑賞】 映画「甦る三大テノール 永遠の歌声」 会場：川崎市アートセンター アルテリオ映像館
大学オペラ「ドン・ジョヴァンニ」合唱で参加した感想	レポート提出（2000字）
YouTube 各自視聴 イタリア課題① 伝記映画「プッチーニ」鑑賞+レポート提出	森田 学 准教授
イタリア課題② 講義「スカラ座博物館について」	森田 学 准教授
イタリア課題③ 講義「イタリア美術について」	宮崎克己 教授
「ヨハン・シュトラウスⅡ：喜歌劇《こうもり》」	いずれか一つ鑑賞し レポート提出（2000字）
ベルカントオペラフェスティバル「ベルカンティッシモ コンサート」	
ベルカントオペラフェスティバル「バロックコンサート」	
ベルカントオペラフェスティバル「ロッシーニ：《小荘厳ミサ曲》」	
藤原歌劇団「モーツァルト：歌劇《フィガロの結婚》」	

海外研修Ⅰ（声楽3年生）代替課題

	項目	内容	講師
課題 1	イタリア課題 レポート提出 ※オンデマンド配 信に変更	①語学講座 「ナポリのサン・カルロ劇場のオペラ解説」※	森田 学 准教授
		②語学講座 「スカラ座博物館について」	森田 学 准教授
		③美術講座 「ローマ～都市と美術」※	宮崎克己 教授
		④美術講座 「フィレンツェとヴェネツィア～都市と美術」※	宮崎克己 教授
		⑤文化講座 「愛と欲望のヨーロッパ①」※	有田 栄 教授
		⑥文化講座 「愛と欲望のヨーロッパ②」※	有田 栄 教授
		⑦講 座 「マルタ騎士団の歴史と音楽①」	ファブリツィオ・ポッツァート先生
		⑧講 座 「マルタ騎士団の歴史と音楽②」	ファブリツィオ・ポッツァート先生
課題 2	遠隔 実技レッスン	右記の指定された招聘講師1名から遠隔レッスンを3回受講。	マリア・ピア・ピシテッリ先生 パオラ・チーニャ先生 アンナ・ヴァンディ先生
	成果発表会	緊急事態宣言 発出に伴い、新国立劇場での舞台演習に統合変更	
課題 3	劇場見学	新国立劇場 バックステージツアー+舞台演習	劇場の舞台裏を特別見学。 客席で特別講義を受講後、ステージにて歌唱
課題 4	特別講座	①「コロナ禍におけるヨーロッパ音楽について」（遠隔授業）	イタロ・グラッシ先生（舞台美術家）
		②「コジ・ファン・トゥッテについてⅠ」（1コマ）（遠隔授業） 「コジ・ファン・トゥッテについてⅡ」（1コマ）（遠隔授業）	マルコ・ガンディーニ客員教授（演出家）
		③「《フィガロの結婚》を題材にした特別授業」	岩田達示 非常勤講師
	特別講座	④「声楽講座・光岡暁恵 スペシャル レクチャー&コンサート」	光岡暁恵 非常勤講師、浅野菜生子 非常勤講師
		⑤「イノベーションとインスピレーション」特別講義	角南 篤 笹川平和財団理事長 (政策研究大学院大学 学長特別補佐・客員教授)
		⑥「オペラ衣装・デザインについて」（遠隔授業）	ジュゼッペ・パレッラ先生（衣装・デザイナー）
課題 5	1 () 6 () い ず れ か 鑑 賞	1) 新国立劇場《トスカ》鑑賞+レポート提出（2000字）	
		2) 新国立劇場《フィガロの結婚》鑑賞+レポート提出（2000字）	
		3) 藤原歌劇団《ラ・ボエーム》鑑賞+レポート提出（2000字）	
		4) 新国立劇場《ワルキューレ》鑑賞+レポート提出（2000字）	
		5) 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団 指 揮：大友直人 独 奏：牛田智大 鑑賞+レポート提出（2000字）	
		6) 管弦楽：群馬交響楽団（東京公演） 指 揮：大友直人 独 奏：古海行子 鑑賞+レポート提出（2000字）	

海外研修Ⅰ（ピアノ3年生）代替課題

項目	内容	講師
課題 1 イタリア課題 レポート提出 ※オンデマンド 配信に変更	①美術講座 「ローマ～都市と美術」※	宮崎克己 教授
	②美術講座 「フィレンツェとヴェネツィア～都市と美術」※	宮崎克己 教授
	③文化講座 「愛と欲望のヨーロッパ①」※	有田 栄 教授
	④文化講座 「愛と欲望のヨーロッパ②」※	有田 栄 教授
	⑤講 座 「マルタ騎士団の歴史と音楽①」	ファブリツィオ・ポツァート先生
	⑥講 座 「マルタ騎士団の歴史と音楽②」	ファブリツィオ・ポツァート先生

課題 2	遠隔 実技レッスン	右記の指定された招聘講師1名から遠隔レッスンを3回受講。	マグダレーナ・リサク先生（カトヴィツェ音楽院准教授） ピオトル・バナシク先生（カトヴィツェ音楽院准教授） シュチェパン・コンチャル先生（カトヴィツェ音楽院准教授）
	独奏	舞台における演奏	全面休講に伴い中止
	室内楽	アンサンブル実習	指導+助演：菅野博文 非常勤講師（チェロ） 助演：淵野日奈子氏（修士2年・ヴァイオリン）
	成果発表会	受講曲（ソロ or アンサンブル）から1曲をユリホールで演奏	（学内関係者以外、非公開）

課題 3	体験講座	「ピアノで考える」① 「ピアノで考える」②	江口文子 主任教授、石内聡明 教授
		パイプオルガン+チェンバロ講座	渥美昌明 楽器室職員（調律師）

課題 4	特別講座	①「コロナ禍におけるヨーロッパの劇場の状況」（遠隔授業）	イタロ・グラッシ先生（舞台美術家）
		②「ドン・ジョヴァンニについて」（遠隔授業）	ニコラ・バスコフスキ先生（指揮者）
		③「イノベーションとインスピレーション」特別講義	角南 篤 笹川平和財団理事長 （政策研究大学院大学 学長特別補佐・客員教授）

課題 5	1 〜 6 〜 い ず れ か 鑑 賞	1) 新国立劇場《トスカ》鑑賞+レポート提出（2000字）	
		2) 新国立劇場《フィガロの結婚》鑑賞+レポート提出（2000字）	
		3) 藤原歌劇団《ラ・ボエーム》鑑賞+レポート提出（2000字）	
		4) 新国立劇場《ワルキューレ》鑑賞+レポート提出（2000字）	
		5) 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団 指 揮：大友直人 独 奏：牛田智大 鑑賞+レポート提出（2000字）	
		6) 管弦楽：群馬交響楽団（東京公演） 指 揮：大友直人 独 奏：古海行子 鑑賞+レポート提出（2000字）	

海外招聘指導者

○2020（令和2）年度 招聘教授実績

- | | |
|--------------------------|-----------|
| 1. ベルンハルト・ケレス(アートマネジメント) | オンライン授業 |
| 2. ラドヴァン・ヴラトコヴィチ(ホルン) | オンラインレッスン |

2020（令和2）年度については、下記の海外招聘指導者を予定していたが、新型コロナウイルス感染のため中止となった。

1. ジョン・オコーナー(ピアノ)
2. カルメン・サントーロ(声楽)
3. 葛 毅(声楽)
4. フリオ・アレクシス・ムニョス(声楽)

2020年度 芸術特別研究 実施演目一覧

【分野区分】 A：音楽公演 B：舞台公演 C：日本古典芸能公演

日程	曜日	名称	会場	分野区分	備考
4月11日	土	アルテリッカブレ 2020若きアーティストたちの響演～昭和音楽大学同侪会とともに～	ユリホール	A	中止
4月12日	日	アルテリッカブレ 昭和音楽大学・ソウル市立大学校 日韓大学交流コンサート	ユリホール	A	中止
4月12日	日	アルテリッカブレ 2020若きアーティストたちの響演 ジャズ・ポピュラーライブ ～昭和音楽大学同侪会とともに～	新百合21ホール	A	中止
4月18日	土	学長裁量経費講座「シェイクスピアと音楽」- レクチャーコンサート①	C511教室	A	中止
4月25日	土	〈アルテリッカ七んゆり2020 オープニング公演〉- 藤原歌劇団公演「カルメン」	ジーリオ	B	中止
4月26日	日	〈アルテリッカ七んゆり2020 オープニング公演〉- 藤原歌劇団公演「カルメン」	ジーリオ	B	中止
4月26日	日	アルテリッカ 本田バンド / Music Bar	新百合21ホール	A	中止
4月29日	水・祝	〈アルテリッカ七んゆり2020 オープニング公演〉- 藤原歌劇団公演「カルメン」	ジーリオ	B	中止
4月29日	水・祝	アルテリッカ フルーツライブ in ユリホール2020 王藤重典と仲間たち	ユリホール	A	中止
4月29日	水・祝	アルテリッカ The Coconut Cups Live 2020 / Music Bar	新百合21ホール	A	中止
5月2日	土	アルテリッカ トリオ・リペルターコンサート	ジーリオ	A	中止
5月3日	日・祝	アルテリッカ 人間国宝の競演 「友枝昭世と山本東次郎の至芸」	川崎市麻生市民館大ホール	C	中止
5月4日	月・祝	第90回読売新聞主催新人演奏会Final	東京文化会館	A	中止
5月4日	月・祝	アルテリッカ 「ゴジラ」シネマコンサート	ジーリオ	A	中止
5月4日	月・祝	アルテリッカ 演芸座「柳亭小痴楽落語会」	新百合21ホール	C	中止
5月4日	月・祝	アルテリッカ 昭和音楽大学アートマネジメントコース 企画制作演習企画公演 Vol.1 かのんぶ♪と歌おう！@七んゆり	ユリホール	A	中止
5月5日	火・祝	第90回読売新聞主催新人演奏会Final	東京文化会館	A	中止
5月5日	火・祝	アルテリッカ Jazz Festival at Conservatory 2020	ジーリオ	A	中止
5月5日	火・祝	アルテリッカ 演芸座「古今亭ぎん志真打昇進落語会」	新百合21ホール	C	中止
5月6日	水・振	アルテリッカ 演芸座「四派競演落語会」	新百合21ホール	C	中止
5月6日	水・振	アルテリッカ 奄美の黒うさぎコンサート	川崎市多摩市民館大ホール	A	中止
5月6日	水・振	〈アルテリッカ七んゆり2020フィナーレ公演〉- 東京交響楽団ドイツ“三大B”名曲コンサート	ジーリオ	A	中止
5月9日	土	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団公演 ピーター・ライト版「ヨッペリア」	ジーリオ	B	中止
5月10日	日	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団公演 ピーター・ライト版「ヨッペリア」	ジーリオ	B	中止
5月12日	火	推薦演奏会①	ユリホール	A	中止

【分野区分】 A：音楽公演 B：舞台公演 C：日本古典芸能公演

日程	曜日	名称	会場	分野区分	備考
5月21日	木	アト・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内演奏会①	C101教室	A	中止
5月28日	木	アト・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内演奏会②	C101教室	A	中止
6月2日	火	作曲作品発表	ユリホール	A	中止
6月4日	木	教員、研究員発表①	ユリホール	A	中止
6月4日	木	アト・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内演奏会③	C101教室	A	中止
6月6日	土	昭和ウインド・シンフォニー第21回定期演奏会	ジーリオ	A	中止
6月6日	土	歌舞伎（日本伝統音楽演習との乗入れ）	国立劇場	C	中止
6月7日	日	歌舞伎（日本伝統音楽演習との乗入れ）	国立劇場	C	中止
6月11日	木	アト・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内演奏会④	C101教室	A	中止
6月20日	土	昭和音楽大学室内合奏団第9回定期演奏会	ユリホール	A	中止
6月26日	金	七んゆりジャズスタジアム	川崎市アートセンター	A	中止
6月27日	土	七んゆり寄席	川崎市アートセンター	C	中止
7月4日	土	吹奏楽特別演奏会	ジーリオ	A	中止
7月7日～26日	火～日	ブロードウェイ・ミュージカル 「天使にラブ・ソングを……シスター・アクト～」	東急シアターオーブ（渋谷）	B	中止
7月12日	日	善竹狂言会 狂言五番	国立能楽堂（千駄ヶ谷）	C	中止
7月15日	水	ペリオド音楽研究所第27回講座	スカラ（北校舎）	A	中止
7月16日	木	アト・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内演奏会⑤	C101教室	A	中止
7月22日	土	七んゆり寄席	川崎市アートセンター	C	中止
9月10日	木	アト・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内演奏会⑥	C101教室	A	中止
9月15日	火	雅楽（日本伝統音楽演習との乗入れ）	ユリホール	C	中止
9月25日	金	七んゆりジャズスタジアム	川崎市アートセンター	A	中止
9月26日	土	七んゆり寄席	川崎市アートセンター	C	中止
10月8日	木	教員、研究員発表②	ユリホール	A	
10月8日	木	アト・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内演奏会⑦	C101教室	A	中止
10月10日	土	大学オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」	ジーリオ	B	
10月11日	日	大学オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」	ジーリオ	B	
10月13日	火	推薦演奏会②	ユリホール	A	6/9より変更
10月21日	水	室内楽定期演奏会	ユリホール	A	中止
10月24日	土	アト・ジーリオ・ショウ・オーケストラ第21回定期演奏会	ジーリオ	A	6/27より変更
10月24日	土	七んゆり寄席	川崎市アートセンター	C	指定解除
10月27日	火	第16回学長賞声楽コンクール（本選）	ジーリオ	A	
11月10日	火	推薦演奏会④	ユリホール	A	中止
11月10日	火	第27回コンチェルト定期演奏会	ジーリオ	A	10/24より変更
11月12日	木	作曲学科作品・研究発表	ユリホール	A	
11月13日	金	日本のオペラ作品を作る公開講座&新作オペラ	ジーリオ	A	追加

【分野区分】 A：音楽公演 B：舞台公演 C：日本古典芸能公演

日程	曜日	名称	会場	分野区分	備考
11月13日	金	教員、研究員発表③	ユリホール	A	中止
11月13日	金	七んゆりジャズスタジアム	川崎市アートセンター	A	指定解除
11月15日	土	七んゆり寄席	川崎市アートセンター	C	指定解除
11月21日	土	管弦楽団第39回定期演奏会	ジーリオ	A	
11月22日	日	音大オーケストラ・フェスティバル	東京芸術劇場	A	
11月24日	火	吹奏楽定期演奏会	ジーリオ	A	12/13より変更
11月28日	土	アートマ自主企画公演「ACOUSMONIUM」 スピーカーのオーケストラ	ブリオ	A	追加
12月3日	木	第18回電子オルガン定期演奏会	ユリホール	A	
12月12日	土	第45回メサイア	ジーリオ	A	
12月19日	土	七んゆり寄席	川崎市アートセンター	C	指定解除
12月19日	土	ペリオド音楽研究所第28回講座	C511教室	A	中止
12月20日	日	2019年度ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演	ジーリオ	B	非公開
12月20日	日	SORORI 狂言三番	国立能楽堂（千駄ヶ谷）	C	指定解除
12月22日	火	推薦演奏会③	ユリホール	A	10/13より変更
12月27日	日	アート・ジーリオ・ショウ・オーケストラ第九演奏会	ジーリオ	A	

- 前期の芸術特別研究は、新型コロナウイルスの影響で会場鑑賞が困難であったため、オンラインコンテンツを用いて、代替鑑賞として芸術特別研究授業を実施した。
- 後期の芸術特別研究は、感染防止対策のしっかりした公演の会場鑑賞を認めるとともに、前期同様、オンラインコンテンツによる代替鑑賞も引き続き行いながら、授業を実施した。

演奏会・講座・提携事業等

Ⅰ 演奏会

(1) 2020年度実績

月日	曜日	名称	会場	来場者数
4月1日	水	令和2年度 入学式奏楽・祝賀演奏会 中止	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	
4月12日	日	昭和音楽大学×ソウル市立大 日韓大学交流コンサート(アルテリッカプレイベント) 中止	ユリホール	
5月5日	火祝	Jazz Festival Conservatory2020 (アルテリッカ) 中止	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	
9月9日	木	教員・研究員研究発表① 中止	ユリホール	
6月20日	土	室内合奏団第9回定期演奏会 中止	ユリホール	
7月4日	日	吹奏楽団特別演奏会 中止	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	
8月5日	金	フェスタ・サマーミュージザKAWASAKI2020 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ (客席50%・オンライン配信)	ミュージザ川崎 シンフォニーホール	251
8月9日	日	短大バレエコース(1,2年)前期成果発表 (出演関係者・講習会参加者のみ)	スタジオ・リリエ	100
9月1日	火	第1回推薦演奏会 (当初予定5/12(火)より変更、学内・出演関係者のみ)	ユリホール	104
9月13日	土	学部ミュージカルコース(4年)前期成果発表 (当初予定7/11(土)より変更、学内・出演関係者のみ)	スタジオ・リリエ	94
9月22日	火祝	学部ミュージカルコース(3年)前期成果発表 (当初予定6/28(日)より変更、学内・出演関係者のみ)	スタジオ・リリエ	91
10月8日	木	教員・研究員研究発表② (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	88
10月10日	土	文化庁 令和2年度 大学における文化芸術推進事業 大学オペラ公演2020《ドン・ジョヴァンニ》 (新進歌手交流オペラプロジェクト) (客席50%)	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	476
10月11日	日	〃	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	511
10月13日	火	第2回推薦演奏会 (当初予定6/9(火)より変更、学内・出演関係者のみ)	ユリホール	228
10月20日	火	第18回学長賞声楽コンクール 予選 (非公開)	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	
10月27日	火	第18回学長賞声楽コンクール 本選 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	
11月10日	火	第27回コンチェルト定期演奏会 (当初予定10/24(土)より変更、客席削減)	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	388
11月12日	火	第4回推薦演奏会 中止	ユリホール	
11月12日	木	第22回作曲学科作品発表 (当初予定6/2(火)より変更、学内・出演関係者のみ)	ユリホール	94
11月13日	金	教員・研究員研究発表③ 中止	ユリホール	
11月13日	金	文化庁委託事業「令和2年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」 日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業 第Ⅲ期 公開座談会&新作オペラ《咲く～もう一度、生まれ変わるために～》 (客席削減)	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	206
11月16日	月	第9回アンサンブルコンクール (①ユリホールでの観覧 ②YouTube配信視聴、学内関係者のみ)	ユリホール	①26 ②82

月日	曜日	名称	会場	来場者数
11月21日	土	管弦楽団第39回定期演奏会 (客席削減)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	276
11月22日	日	第11回音楽大学オーケストラ・フェスティバル (昭和・上野)	東京芸術劇場	400
11月24日	火	吹奏楽団第34回定期演奏会 (当初予定12/13(日)より変更、客席削減)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	288
12月3日	木	第18回電子オルガン定期演奏会 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	85
12月12日	土	第45回メサイア (客席削減)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	588
12月13日	日	吹奏楽団第21回昭和ウインド・シンフォニー定期演奏会 (当初予定6/6(土)より変更、客席削減)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	255
12月22日	日	ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演「INTO THE WOODS」 (客席50%)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	①385 ②404
12月22日	火	第3回推薦演奏会 (当初予定10/13(火)より変更、学内・出演関係者のみ)	ユリホール	85
12月26日	土	短大バレエコース (1, 2年) 後期成果発表 (出演関係者・講習会参加者のみ)	スタジオ・リリエ	56
1月25日	月	学部ミュージカルコース(3年) 後期成果発表 (非公開) (当初予定1/24(日)より変更)	スタジオ・リリエ	
1月26日	火	〃	スタジオ・リリエ	
2月7日	日	学部バレエコース卒業公演 (客席50%)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	330
2月14日	日	大学院修士課程修了オペラ公演 (非公開)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	
2月20日	土	大学院室内楽コンサート 中止	ユリホール	
2月21日	日	短大バレエコース卒業公演 (客席50%)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	343
2月28日	日	学部・短大ジャズ・ポピュラー音楽コース卒業ライブ (客席50%)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	243
3月18日	木	卒業演奏会 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	88
3月19日	金	〃	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	①56 ②132
3月20日	土祝	卒業式奏楽	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	
3月27日	土	第10回音楽大学フェスティバル・オーケストラ 中止	ミューザ川崎 シンフォニーホール	
3月28日	日	第10回音楽大学フェスティバル・オーケストラ 中止	東京芸術劇場	
-	-	日豪文化交流事業 (ジャズ交流 WAYJO来日・渡豪) 中止	都内	

II 演奏会（テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ）

(1) 2020年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場	来場者数
10月24日	土	第21回定期演奏会（当初予定6/27(土)より延期、客席削減）	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	449
11月10日	火	第27回コンチェルト定期演奏会 （当初予定10/24(土)より変更、客席削減）	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	(388)
12月27日	日	第九演奏会（客席削減）	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	585
3月13日	土	第22回定期演奏会（客席50%）	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	312
8月5日	水	フェスタ・サマーミュージックKAWASAKI2020 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ （客席50%・オンライン配信）	ミュージック川崎シンフォニーホール	251
11月13日	金	文化庁委託事業「令和2年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」 日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業 第Ⅲ期 公開座談会&新作オペラ《咲く～もう一度、生まれ変わるために～》 （客席削減）	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	(206)

<外部主催公演>

月日	曜日	名称	会場
5月4日	月祝	ゴジラ・シネマ・コンサート 中止	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月9日	土	スターダンサーズ・バレエ団「ヨッペリア」 中止	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月10日	日	スターダンサーズ・バレエ団「ヨッペリア」 中止	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
8月15日	土	藤原歌劇団公演《カルメン》全4幕（当初予定4/25(土)より変更）	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
8月16日	日	藤原歌劇団公演《カルメン》全4幕（当初予定4/26(日)より変更）	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
8月17日	月祝	藤原歌劇団公演《カルメン》全4幕（当初予定4/29(水祝)より変更）	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
11月28日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演《くすみ割り人形》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
11月29日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演《くすみ割り人形》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月4日	金	ベルカント・オペラ・フェスティバル 中止	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月6日	日	ベルカント・オペラ・フェスティバル 演目変更：ロッシェニ「小荘厳ミサ曲」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月26日	土	OPクレジットカード貸切公演 オペラ『カルメン』名アリア集&第九「歓喜の歌」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
1月8日	金	藤原歌劇団公演《フィガロの結婚》全4幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
1月9日	土	藤原歌劇団公演《フィガロの結婚》全4幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
1月23日	土	ロッシェニの音楽と食	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
1月24日	日	ニューイヤーコンサート 第10回ベートーヴェン交響曲第9番「合唱付」 中止	伊勢原市民文化会館大ホール
3月27日	土	スターダンサーズ・バレエ団「Diversity」	東京芸術劇場
3月28日	日	スターダンサーズ・バレエ団「Diversity」	東京芸術劇場

Ⅲ. 生涯学習講座・提携事業

(1) 2020年度実績

< 本学主催 >

月日	曜日	名称	会場	受講者数
通年(隔週)	日	しょうわジュニア・オーケストラ 中止	南校舎教室	
通年	土・日	ピアノ指導法講座	南校舎教室	66
7月14日	木	文化庁委託事業 令和2年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 「日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業」公開講座 中止	ユリホール	
8月23日	日	音楽療法講座【地域と音楽療法】第1回 地域とつながる子どもの音楽療法 <オンライン講座> (当初予定6/21(日)より変更)	(オンライン)	48
8月25日	火	しょうわジュニア・オーケストラ第15回定期演奏会(3/22延期分) 中止		
9月7日	土	音大で学ぶ!! コンピュータ講座 音楽・楽譜制作講座〔Finaleを使って〕 中止	南校舎C411	
9月8日	日	音大で学ぶ!! コンピュータ講座 デジタル作編曲講座〔Studio One Primeを使って〕 中止	南校舎C411	
10月27日	火	特別授業一般公開 日本伝統音楽演習「雅楽」 (非公開)	ユリホール	
9月20日	日	大学オペラ公演プレ講座	南校舎C511	62
10月3日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2020～シューマン～ 第1回 (全2回に変更)	南校舎A311	43
10月9日	金	大学オペラ公演ゲネプロ見学会 中止	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	
10月18日	日	音楽療法講座【地域と音楽療法】第2回 音楽を通じた地域拠点づくり	南校舎C511	40
10月31日	土	文化庁 令和2年度 大学における文化芸術推進事業・アートマネジメント人材育成事業 「実演舞台芸術プロデューサー養成講座」オンライン・シンポジウム① 「クラシック音楽家のためのセルフマネジメントについて考える」 (①学外聴講 ②学生聴講)	(オンライン)	①152 ②65
11月7日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2020～シューマン～ 第2回 (全2回に変更)	南校舎A311	36
11月7日	土	音大で学ぶ!! DTM講座～ジャズ編～ (定員に達しなかったため中止)	(オンライン)	
12月2日	水	文化庁 令和2年度 大学における文化芸術推進事業・アートマネジメント人材育成事業 「実演舞台芸術プロデューサー養成講座」オンライン・シンポジウム② リーダーズ・トーク「我々はいかにして劇場を再開させるのか?」	(録画配信)	414
3月7日	日	音楽療法講座【地域と音楽療法】第3回 地域における音楽療法	南校舎C511	22
3月29日	月	しょうわジュニア・オーケストラ 第16回定期演奏会 中止	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	

<共催>

月日	曜日	名称	会場
認定NPO法人かわさき市民アカデミー			
5月～7月	水	モーツァルトとドン・ジョヴァンニ 5/12・26、6/9・23、7/7・21 中止	ラ・サーラ・スカラ
9月～1月	水	モーツァルトとドン・ジョヴァンニ 10/13・27、11/10・24、12/1・15 (前期予定の内容を実施)	ラ・サーラ・スカラ
月日	曜日	名称	会場
株式会社 プレレラディオ			
通年	-	オペラ歌手と日本の名曲を歌う会 (全12回) 8/18、9/16、10/22、11/17、12/24、3/24 ※4/22、5/20、6/18、7/16、1/21、2/25、中止	ユリホール
6月28日	日	SHOWAミュージック・カフェ2020① オーディション選出者によるコンサート (延期・日程未定)	ユリホール
8月22日	土	藤原歌劇団Quattro Ariaサマーコンサート2020	ユリホール
9月27日	日	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート Vol.23	ユリホール
11月23日	月・祝	SHOWAミュージック・カフェ2020② 昭和音楽大学同侪会奨学金対象者によるコンサート	ユリホール
3月14日	日	SHOWAミュージック・カフェ2020③ オーディション選出者によるコンサート (2019年3/22(日)振替公演)	ユリホール
3月27日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート Vol.24	ユリホール

<提携事業>

新冠町提携事業 (新冠町/北海道)	
1. 音楽団体演奏クリニック (オンラインで実施)	
2. 新冠町&昭和音楽大学パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサート	中止
かわさきジュニア・オーケストラ (公益財団法人川崎市文化財団)	中止

附属機関の活動

《オペラ研究所》

○オペラ研究所の事業

昭和音楽大学オペラ研究所は、昭和音楽大学の建学の精神に基づき、総合芸術たるオペラおよびその関連領域について研究することを目的とする。

【2020年度研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員 (五十音順)

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

大仁田 雅彦 昭和音楽大学教授

折江 忠道 昭和音楽大学教授

岸田 生郎 昭和音楽大学教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

小畑 恒夫 昭和音楽大学客員教授

袴田 麻祐子 昭和音楽大学嘱託研究員

● 2020年度活動内容

① 横浜市からの調査研究業務受託

舞台芸術政策研究所と共同で、横浜市より「新たな劇場におけるオペラ関連調査」業務を受託し、国内外のオペラについて、劇場整備状況、上演動向、オペラ上演に必要なハード面およびソフト面の要件等に関する報告書を作成した。

調査期間：令和2年11月27日から令和3年3月31日

② 日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

音楽評論家の関根礼子氏を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続して行った。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

③ 『日本のオペラ年鑑2019』の編纂・刊行

本学の石田麻子教授を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する『日本のオペラ年鑑2019』を編纂・刊行した。本事業は平成8年度から継続的に行われているもので、本年度は文化庁委託事業「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として本学が受託した。

【編纂委員（五十音順、敬称略）】

石田 麻子：昭和音楽大学オペラ研究所所長・教授、独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムディレクター（調査研究分野）〔編纂委員長〕

江藤 光紀：筑波大学人文社会系准教授

小畑 恒夫：昭和音楽大学客員教授

河野 典子：音楽評論家

関根 礼子：音楽評論家、本学オペラ研究所嘱託研究員、公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団理事

堀内 修：音楽評論家

【執筆者】

大田美佐子：神戸大学大学院准教授

大仁田雅彦：昭和音楽大学教授

鈴木大介：新国立劇場技術部

④ オンラインデータベース『オペラ情報センター』の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 24～28 年度）により構築したオンラインデータベース『オペラ情報センター』へのデータ入力について、文部科学省の補助事業としては平成 29 年度で終了となったが、当研究所の事業として継続して入力を実施し、データの拡充を行った。

⑤ オペラアーカイブに関する書籍への寄稿

高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集『デジタルアーカイブ・ベーシックス 4 アートシーンを支える』（勉誠出版、2020 年 12 月）において、アートシーンにおける音楽分野での事例紹介としての原稿依頼があり、『オペラ情報センター』での成果を元に、石田教授・吉原准教授の連名で「日本のオペラアーカイブの現状と課題」を寄稿した。

⑥ 各種学内事業／イベントへの協力

i) 演奏センターで実施した、文化庁委託事業「令和 2 年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業（第Ⅲ期）『創作オペラを学ぶ』について、プレスリリースを実施し学外広報に努めると同時に、講座の記録作成に協力した。

ii) 演奏センターが開催したオンラインシンポジウム、文化庁令和 2 年度 大学における文化芸術推進事業アートマネジメント人材育成事業「実演舞台芸術プロデューサー養成講座」リーダーズ・トーク『我々はいかにして劇場を再開させるのか？—劇場トップが語る日本とドイツの現在—』のプレスリリースに協力し、学外広報に努めた。

⑦ 新国立劇場との提携

本学が公益財団法人新国立劇場運営財団と交わした研究成果やデータの相互貸与に関する覚書にもとづき、当研究所が引き続きその窓口となった。

《バレエ研究所》

昭和音楽大学バレエ研究所は国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成 18 年に設立された。国内外におけるバレエ教育やバレエ界の現状等について調査・研究を行うことが目的である。本年度は日本バレエ団連盟委託調査事業「新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフ育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査」や、バレエ公演のデジタルアーカイブ「バレエアーカイブ」運営を中心に、様々な活動を行った。バレエ研究所が設立以来行ってきたバレエに関する研究が、関係者等から再評価された年だった。

【2020 年度研究員】

所長

小山 久美 昭和音楽大学短期大学部 教授

バレエ研究所アドヴァイザー（五十音順）

石井 清子 東京シティ・バレエ団 評議員

海野 敏 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授、舞踊評論家

牧 阿佐美 新国立劇場バレエ研修所 所長

研究員（五十音順）

岩部 純子 昭和音楽大学 専任講師

尾崎 瑠衣 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

勝川 史憲 慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 教授、
昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

小尻 健太 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

杉本 亮子 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

村山 久美子 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

● 2020 年度活動内容

① 「新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフ育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査」事業

バレエ研究所は日本バレエ団連盟より調査・研究等を委託され、以下のプロジェクトを行った。

(1) 「海外実演団体新型コロナウイルス対応調査」

新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の危機に対して、日本国外のバレエ団や芸術団体がいかに対応を行っているのかについて調査を行った。調査期間は 2020 年 7 月から 2021 年 3 月までである。各国メディアによる報道や芸術団体ウェブサイトを中心に、インターネットを通じて調査を行った。新型コロナウイルスをめぐる状況は刻々と変化するため、最新の情報を届けるという意味で、2400 字程度のレポートを毎週作成して加盟団体に E メールで送信した。調査の内容は主にバレエ団の運営実態や芸術団体の動向であり、例えばコロナ禍で公演を開催した団体があるならばいかに開催したのか、ファンディングイベントを開催した団体があるならばどんなイベントを企画したのか、デジタルではどんな取り組みを行っているのか、財政難に陥っているバレエ団があるならばその詳細等についてレポートを作成した。本調査は加盟団体から高い評価を受け、「昭和音楽大学バレエ研究所から定期的に『海外実演団体新型コロナウイルス対応状況調査』のメールが送られてくるのだが、世界の芸術団体がいかにコロナ禍と闘っているかを、その時どきに知ることができて、とても助かっている。」(2020 年 12 月 2 日付 NBS ニュース) という感想も寄せられた。

(2) バレエ公演データ整備

日本バレエ団連盟に加盟するバレエ団の公演詳細をデータ化した。加盟団体から過去に

開催されたバレエ公演プログラムの寄贈を受け、それをデータ化した。こうした基礎データ整備作業を通じて、日本におけるバレエ公演のデータが可視化された。

(3) 「子どものたちのバレエ鑑賞体験に関する調査」

バレエ公演やバレエのワークショップが子どもたち情操教育にどんな効果があるのかについてのインパクト調査であり、バレエ研究所は調査の統括や調整、データ集計業務を行った。

② 横浜市「バレエ団活動状況等調査」

横浜市と日本バレエ団連盟が行った「バレエ団活動状況等調査」でアドバイザー業務や調整等を行った。バレエ研究所は専門家として調査に対して専門的なアドバイスを行うほか、バレエ団や関連団体との調整業務などを行った。本プロジェクトでは長年に渡ってバレエ研究所が行ってきたバレエに関する様々な研究・調査、またバレエ研究所がバレエ界で築いてきたネットワーク等が活用された。

③ 「バレエアーカイブ」の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成～31年度）でバレエ研究所が構築した、日本におけるバレエ公演のデジタルアーカイブ「バレエアーカイブ」の運営を行った。本年は不具合等の修正、タグを増やすなど、利用者にとってさらに便利サイトを構築するために、さまざまな変更や修正を行った。加えてデータの拡充も行った。

④ 専門図書館協議会『専門図書館』への寄稿

専門図書館協議会が発行する『専門図書館』2020年12月号に、バレエ研究所が運営する「バレエアーカイブ」と「バレエアーカイブ」に関する記事（「バレエアーカイブとバレエライブラリー」）を寄稿した。

《舞台芸術政策研究所》

昭和音楽大学舞台芸術政策研究所は、舞台芸術政策・マネジメントに関する調査・研究と提案・発信を行うことを目的に、平成25年1月に設置。関係機関と密接な連携を図りながら、専門的見地からの舞台芸術に関するデータの収集・分析と振興方策の提案を行い、わが国の舞台芸術の発展に寄与する。

【2020年度研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員（五十音順）

赤木 舞 昭和音楽大学非常勤講師

大仁田 雅彦 昭和音楽大学教授

岸田 生郎 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

蕪澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

● 2020 年度活動内容

【横浜市からの調査研究業務受託】

オペラ研究所と共同で、横浜市より「新たな劇場におけるオペラ関連調査」業務を受託し、国内外のオペラについて、劇場整備状況、上演動向、オペラ上演に必要なハード面およびソフト面の要件等に関する報告書を作成した。

調査期間：令和2年11月27日から令和3年3月31日

【第38回 FACP2020 の参加】

期日：令和2年11月12日（木）～11月15日（日）

会場：台湾・高雄市 衛武宮国家芸術文化センター National Kaohsiung Center for the Arts（シンポジウム、各種パフォーマンスにオンライン参加）

下八川共祐（理事長）、石田麻子（当研究所所長）、家安勝利（国際交流／渉外部長）が14、15日の会議にオンラインで参加した。また、11月21日（土）のガバナーズ会議に家安勝利（国際交流／渉外部長）がオンラインで参加した。

【日本音楽芸術マネジメント学会の運営】

① 第12回夏の研究会（※登壇者の肩書は当時のもの／参加者のべ800名余）

《After / With コロナ時代を生きる～音楽で明日の社会をひらくために》

分科会1 オーケストラ

日程：令和2年7月27日（月）19:00～21:30

オンライン開催（Zoom ウェビナー）

[報告]

国塩哲紀 東京都交響楽団 芸術主幹
辻敏 東京交響楽団 常務理事・事務局長
中川広一 札幌交響楽団 総務・営業部次長
二宮光由 大阪交響楽団 楽団長・インテンダント
山元浩 名古屋フィルハーモニー交響楽団 演奏事業部長

[司会]

石田麻子 九州大学大学院芸術工学研究院 准教授

[オブザーバー]

石田麻子 昭和音楽大学オペラ研究所 教授／JaSMAM 理事、編集委員長

分科会2 アーティスト

日程：令和2年7月29日（水）19:00～21:30

オンライン開催（Zoom ウェビナー）

[報告]

入山功一 株式会社 AMATI 代表取締役社長
関鎖京 北海道教育大学芸術文化政策研究室 准教授／JaSMAM 理事
本山秀毅 合唱指揮者／大阪音楽大学 学長
渡邊悠子 特定非営利活動法人みんなのことば 代表理事

[司会]

堀田栄作 公益社団法人関西二期会 事務局長／JaSMAM 理事

[オブザーバー]

壬生千恵子 エリザベト音楽大学音楽学部 教授/JaSMAM 幹事
分科会3 劇場・音楽堂

日程：令和2年8月4日（火）19:00～21:30

オンライン開催（Zoom ウェビナー）

[報告]

高野裕子 京都コンサートホール事業管理部事業企画課 係長
永井健一 神奈川県立音楽堂 館長/JaSMAM 理事
古屋靖人 兵庫県立芸術文化センター 事業専門員
水野学 愛知県芸術劇場 シニアプロデューサー

[司会]

梶田美香 名古屋芸術大学芸術学部 教授/JaSMAM 幹事

[オブザーバー]

森岡めぐみ 住友生命いずみホール 次長/JaSMAM 理事、企画委員長

シンポジウム「After / With コロナ時代を生きる～音楽で明日の社会をひらくために」

日程：令和2年8月9日（日）15:00～17:30

オンライン開催（昭和音楽大学北校舎より YouTube 配信）

[登壇者]

入山功一 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 会長
榎本剛 文化庁 政策課長
鈴木順子 東京芸術劇場 事業企画課長 コンサートホール・ジェネラル
マネージャー
平井俊邦 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 理事長

[モデレーター]

中川俊宏 武蔵野音楽大学 教授・音楽総合学科長/JaSMAM 副理事長、通信・
広報委員長

[総合司会]

石田麻子 昭和音楽大学オペラ研究所 教授/JaSMAM 理事、編集委員長

② 第13回冬の研究大会（※登壇者の肩書は当時のもの／参加者約130名）

日時：令和3年2月13日（土）10:00～19:00

オンライン開催（Zoom）

10:00～15:50 研究発表16本

16:30～19:00 プレトーク&パネルディスカッション《with / after コロナ時代の創造を考える—
—動画配信の試み》

第一部 事例報告

報告1 前田明子 ミューザ川崎シンフォニーホール事業企画課係長

報告2 田村吾郎 横浜みなとみらいホール「バーチャル版芸術フェスティバル〈横浜 WEB ス
テージ〉」クリエイティブディレクター

報告3 鈴木優人 指揮者、鍵盤奏者、作曲家

第二部 パネルディスカッション

[登壇者]

鈴木優人、田村吾郎、前田明子

[コメンテーター]

浅利洋 NHK 制作局 音楽芸能チーフ・ディレクター

入山功一 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 会長

[モデレーター]

森岡めぐみ 住友生命いずみホール 次長/JaSMAM 企画委員長

《歌曲研究所》

昭和音楽大学歌曲研究所は、歌曲資料の収集及び演奏法の研究を目的とする。

【2020 年度研究員】

所 長

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

研究員（五十音順）

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

折江 忠道 昭和音楽大学教授

酒巻 和子 昭和音楽大学教授、音楽研究科長

柴山 昌宣 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

中村 佳子 昭和音楽大学短期大学部教授

廣田 美穂 昭和音楽大学短期大学部准教授

藤原 海考 昭和音楽大学短期大学部准教授

的場 辰朗 昭和音楽大学教授、音楽学部長

● 2020 年度活動内容

1) 歌曲研究会

新型コロナウイルス感染症の影響で令和 2 年度の開催を見送った。

2) 高校生のための歌曲コンクール

平成 12 年度から実行委員会形式で開催してきた本コンクールを、平成 15 年度より昭和音楽大学の主催とし音楽教育研究所の研究課題として実施してきた。平成 22 年度より歌曲研究所に移管し、継続して研究している。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で予選・本選ともに公開審査からビデオ審査に変更して開催した。

1. 過去の参加者数

平成 12 年度（第 1 回） 198 名、平成 13 年度（第 2 回） 249 名

平成 14 年度（第 3 回） 259 名、平成 15 年度（第 4 回） 258 名

平成 16 年度（第 5 回） 248 名、平成 17 年度（第 6 回） 258 名

平成 18 年度（第 7 回） 240 名、平成 19 年度（第 8 回） 199 名

平成 20 年度（第 9 回） 172 名、平成 21 年度（第 10 回） 179 名

平成 22 年度（第 11 回） 151 名、平成 23 年度（第 12 回） 203 名

平成 24 年度（第 13 回） 231 名、平成 25 年度（第 14 回） 224 名

平成 26 年度（第 15 回）193 名、平成 27 年度（第 16 回）174 名
平成 28 年度（第 17 回）189 名、平成 29 年度（第 18 回）204 名
平成 30 年度（第 19 回）205 名、令和元年度（第 20 回）216 名
令和 2 年度（第 21 回）127 名

2. 令和 2 年度（第 21 回）実施概要

予 選（ビデオ審査）

- ・日 程：令和 2 年 7 月 19 日（日）
- ・方 法：予選審査曲（イタリア歌曲 1 曲を録画したビデオによる審査）
- ・会 場：南校舎教室
- ・応 募：127 名（女声 99 名 男声 28 名）

本 選（ビデオ審査）

- ・日 程：令和 2 年 8 月 22 日（土）
- ・会 場：南校舎教室
- ・参加者：43 名（女声 31 名、男声 12 名）

- 表 彰
- ・優秀賞：6 名
 - ・奨励賞：15 名

《アートマネジメント研究所》

アートマネジメント研究所は、アートマネジメントに関する領域の研究および関連分野の研究を目的としており、「アートマネジメント研究部会」、「コミュニケーションセンター」の 2 つの部門で活動している。

【2020 年度研究員】

所長

古橋 祐 昭和音楽大学教授

研究員（五十音順）

石田 麻子 昭和音楽大学教授

岸田 生郎 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

武濤 京子 昭和音楽大学教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

蕨澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

布目 藍人 昭和音楽大学非常勤講師

森川 卓夫 昭和音楽大学非常勤講師

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

● 2020 年度活動内容

【アートマネジメント研究部会】

アートマネジメント研究部会は、研究員それぞれが自身の研究活動や共同研究をベースに、時事的なテーマに基づいた研究発表・研究会を行っている。2020 年度は、以下の研究活動および「音楽芸術運営

研究 No.14」を発行した。

1. 研究会の実施

6月17日(水) [公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)の活動について①]

7月15日(水) 「芸団協の活動について②」

10月14日(水) 「(一財)川崎新都心まちづくり財団の「郊外地域社会研究調査事業」について」

12月2日(水) 「ライブ配信の現状」

1月13日(水) 「「公益財団法人日本オペラ振興会の過去30年の上演オペラ公演を考察する」

2. 「音楽芸術運営研究 No.14」の発行

研究員の研究活動報告や論文をまとめた「音楽芸術運営研究 No.14」を発行し、関係大学、文化庁、その他の関係機関に配付した。

【コミュニケーションセンター】

昭和音楽大学コミュニケーションセンター(SCC)は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムの運営とそれに伴う研究活動を行っている。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動を通して、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を持った音楽人の育成を行う取り組みである。平成18年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)に選定され、平成20年度より正規授業としてカリキュラム化され(科目名「音楽活動研究①、②、③、④」)、平成23年度よりキャリア関連科目としても位置付けられた。

なお、本年度はコロナ禍により音楽活動研究①②④は開講せず、昨年度までの①②経験者により③のみの開講となった。また派遣コンサート数も予定されていたものが中止となるなど大幅に減じた。

SCCでは、「音楽活動研究」の授業の全般的な運営、派遣依頼受入れの可否の検討と依頼元への連絡・交渉、学生の演奏・指導派遣のコーディネート、広報活動等を行った。

1. 「音楽活動研究」の授業運営

- ・音楽活動研究分科会と連動した「音楽活動研究③」の授業の全般的運営
- ・「音楽の贈り物」公演制作・実施(下記4に記載)

2. 演奏指導活動派遣

麻生区内中学校1校(麻生中学校校内合唱コンクール ミニコンサート)

川崎市教育委員会事業1事業(下記3に記載)

麻生区役所保健福祉センター事業1事業(下記4に記載)

(合計3件)

活動数:演奏活動2回、教育指導活動1回

3. 川崎市教育委員会事業:1事業

- ・「2020年度ジュニア音楽リーダー育成事業」

日時:令和2年10月31日(土)、11月1日(日)

場所:昭和音楽大学 南校舎 教室 等

4. 麻生区役所地域みまもり支援センターとの連携事業:1事業

- ・「音楽の贈り物~音楽で旅をしよう!~」

日時:令和2年11月29日(日)14:00~16:00

場所:昭和音楽大学 南校舎1階 C101 スタジオブリオ、他

5. 広報活動:専用ホームページ、ブログの運用 他

《音楽療法研究所》

音楽療法研究所は、「新しい生活様式を踏まえた音楽療法」を令和2年度の年間テーマとして研究活動をおこなった。活動の柱は、平成30年度大学発政策提案制度にて採択され、昨年度より2か年事業として神奈川県都の協働事業としておこなっている「健康寿命延伸に向けた高齢者施設における音楽活用事業かながわモデル」であった。本年度は、昨年度の実績および成果を踏まえたうえで、感染症拡大の影響を受けながら「新しい生活様式」での活動内容となった。

また、研究所紀要として平成23年度から発行してきた「音楽療法研究」は、令和2年度において第10号となった。

【2020年度研究員】

所長

羽石 英里 昭和音楽大学教授

研究員 (五十音順)

青木 久美 昭和音楽大学非常勤講師

伊藤 啓子 昭和音楽大学客員教授

今村 ゆかり 日本音楽療法学会常任理事／昭和音楽大学非常勤講師

大山 祥子 昭和音楽大学非常勤講師

北島 洋美 日本体育大学准教授／昭和音楽大学非常勤講師

杵鞭 広美 桐朋学園大学准教授／昭和音楽大学非常勤講師

白川 ゆう子 昭和音楽大学専任講師

田原 ゆみ 昭和音楽大学非常勤講師

萩原 かおり 昭和音楽大学教授

深野 広美 昭和音楽大学非常勤講師

二俣 泉 昭和音楽大学准教授／日本音楽療法学会副理事長

三浦 優佳 昭和音楽大学非常勤講師

村林 信行 日本音楽療法学会常任理事／昭和音楽大学非常勤講師

横山 順一 日本体育大学准教授／昭和音楽大学非常勤講師

アドバイザー

松井 紀和 昭和音楽大学客員教授／日本臨床心理研究所所長／
精神科医師

岸本 宏子 昭和音楽大学名誉教授

● 2020年度活動内容

令和元年度は、以下の(1)～(4)にわたる事業をおこなった。

(1) 研究所主催研究会の開催

例年、音楽療法の専門家を招聘し、外部音楽療法専門家および音楽療法を学んでいる学生たちにも広く門戸を開いた公開講座（学生・学内関係者無料、同侪会音楽療法部会会員500円、他大学生・外部専門家1,000円）を実施していたが、感染症拡大下において本年度の実施は見送った。

(2) 音楽療法研究所紀要『音楽療法研究』の発行

令和2年度で発行10年目を迎えた。研究員らによる研究成果や活動報告を記載した。

(3) 「音楽療法ディベロップメント」事業の開催

1. 人材開発 キャリア支援講座

音楽療法コース4年生と大学院修士課程2年生のうち日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）資格試験および日本音楽療法学会認定音楽療法士資格試験（実技・面接）を受験する学生をメインの対象とした対策講座をおこなった。

2. 教材開発研究

音楽療法実習の中で使用しているオリジナル楽曲（歴代のもの）曲集としてまとめて形に残すことを目的とし、昨年度に引き続き作業をおこなった。本年度は学生が残した手書きの楽譜を収集し、順次データ化（楽譜作成）をおこなった。また、本年度は実習を含め、様々な形で「新しい生活様式を踏まえた」オンラインでの音楽療法臨床をおこなったため、その記録 VTR やノウハウを新たに蓄積した。

3. 音楽療法アーカイブ

平成12年に本学に音楽療法コースが設置された当時から現在までの活動を整理するとともに、音楽芸術運営研究所（当時）のうちの音楽療法に係る研究と活動、音楽療法研究所設置から現在までの活動の資料収集および整理をおこなっている。

(4) 健康寿命延伸に向けた高齢者施設における音楽活用事業かながわモデル

本研究所では、平成30年度に神奈川県が募集した「大学発・政策提案制度」に応募し、企画・提案した「健康寿命延伸に向けた高齢者施設での音楽活用事業かながわモデル」が採択された。令和元年度より神奈川県との協働により「高齢者施設等音楽療法活用事業」を実施している。2年目となる本年度は、以下1~8の活動をおこなった。また、昨年度に引き続き、本協働事業のための研究所専用ホームページを開設した。

1. ワーキンググループ（以下、WG）設置

事業を円滑におこなうため、研究所内にWGを設置した。

<WG 構成員>

羽石 英里（本学教授、本研究所所長）／三浦 優佳（本学非常勤講師）／深野 広美（本学非常勤講師）／伊藤 啓子（本学客員教授）／赤坂 由美子（本研究所アルバイト）

その他、音楽療法コース専任教員については授業優先のためWG出席は必ずしも求めないものとして構成員とした。

2. 協働事業契約の締結および県事業化

令和2年度の2ヶ年事業として、神奈川県との協働により「高齢者福祉施設等音楽療法活用事業」をおこなった。事業最終年度である本年度は、本来であれば令和元年度のモデル試行結果を踏まえてモデルを修正し、広く実施する年であったが、感染拡大の影響により協働事業の実施期間は令和2年9月1日始動となった。令和2年9月1日、神奈川県知事と本学理事長の名により協働事業契約書が交わされた。モデルの目的は、昨年度から引き続き「高齢者の心身機能の維持改善などを目指す効果的な音楽活動を施設職員とともに広く提供すること」、そしてこれにより「施設での音楽活動に対する困難さや問題の軽減・解決を図るとともに、音楽療法士と施設職員が効果的かつ効率的な音楽活動を広く継続的に実践できる仕組みを構築し、全国的な課題となっている健康寿命の延伸に寄与すること」であった。

3.協働事業の概要

協働事業の名称は、令和元年度に引き続き「高齢者施設等音楽療法活用事業」であり、協働事業の目的は、高齢者施設や住民主体の活動の場で、心身機能の維持・改善等を目指し、音楽活動を効果的に実施する仕組みづくりを協働事業によりおこなうことである。本協働事業は、昭和音楽大学がこれまで神奈川県内で取り組んできた音楽療法に係る活動成果を活用し、音楽療法士等専門家により作成した「音楽活動サポートかながわモデル」の検証・評価および紹介をおこなうものであり、施設等に対する個別サポートや研修、動画配信により音楽活動の実施をサポートするものであった。また、実施結果を踏まえ、継続に向けたシステム構築と成果物の作成をおこなうものであった。

4.「新しい生活様式を踏まえた」かながわモデルの実施マニュアル

本年度は、感染拡大防止の観点から「3つの密」（「換気が悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」及び「間近で会話や発声をする密接場面」）を避ける必要があり、可能な限り同じ時間帯、同じ場所での実施人数を減らすこと、声を出す機会を最小限にすること等に配慮した。「飛沫」、「接触」、そして「時間と場所等を集団で共有すること」等を避けながらも、音や音楽の持つ多様な働きと特徴を人々の心身の健康にむけて活用する方向でマニュアルを修正した。また、感染症拡大下においては、高齢者施設等への外部の者の立ち入りが困難な状況が生じたことから、施設職員自らが、音楽療法士の直接的介入が無くとも心身機能の維持・改善等を目指し音楽活動を効果的に実施できるように配慮した。具体的な方策としては、新しい生活様式を踏まえて自走するために活かしやすい情報を盛り込んだマニュアルを策定した。なお、本マニュアルは、後に報告する施設職員等向け研修（11月8日実施）において、【マニュアル資料編】・【演習編】として教材として配付・使用し、施設での音楽活動の自走のために活用できるようにした。

5.施設職員等向けの研修の実施

施設等間での共通のニーズに対する効率的な解決と、施設での効果的な音楽活動の自走を図ることを目的とした研修を実施した。県内高齢者施設職員等を中心に地域において介護予防や高齢者福祉に携わる人材を対象とした。同日に2回実施し、合計100名程度参加できるようにした。参加方法は、新しい生活様式を踏まえ、会場での対面方式（以下、対面参加型）とインターネットを活用したオンラインでの遠隔参加による研修（以下、オンライン参加型）を併用した。

5-1.研修の概要

テーマ：新しい生活様式を踏まえた一いまずぐ活かせる、だれでもできる『音楽レク』のワザ

日時：令和2年11月8日（日）

午前クラス10：00～12：15、午後クラス14：00～16：15

対象：神奈川県内高齢者施設等においてレクや音楽を用いた体操などを担当する者

会場：【対面参加型】本学南校舎、

【オンライン型】zoomを使用したオンラインミーティング会場

申込者：103名（施設数：55施設） 参加者：100名（施設数：53施設）

5-2.研修内容および講師

参加者募集時および研修時には、本研修が新しい生活様式を踏まえていることを明示し、感染症拡大予防対策をおこなったうえでの開催である旨を周知するための資料を作成し、事前配付する

とともに HP に掲載した。上記のとおり、本年度は、新しい生活様式を踏まえ、昨年度の各講義・演習テーマの核となる目的は継続するものの、紹介する活動内容と方法は一部変更した。以下のテーマと講師でおこなった（本稿では資格および所属は現職のみ記載）。

○食前体操に活かす音楽-飛沫を防ぎながら！発声・呼吸・口腔・嚥下機能アップ体操-

羽石 英里（日本音楽療法学会認定音楽療法士、アメリカ音楽療法学会公認音楽療法士、昭和音楽大学教授）／大山 祥子（日本音楽療法学会認定音楽療法士、昭和音楽大学非常勤講師、フリーランスの音楽療法士として神奈川県を中心に教育・福祉施設等において音楽療法を実践）

○からだを動かす -新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した実践-

井上 美緒（日本音楽療法学会認定音楽療法士、作業療法士、福祉用具専門相談員取得。医療法人社団大関会、大関会クリニック江戸川橋作業療法士）／本谷 理絵（日本音楽療法学会認定音楽療法士、昭和音楽大学実習研究員）

○なつかしの音楽クイズ あたまと心のストレッチ -新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した実践-

深野 広美（日本音楽療法学会認定音楽療法士、医療法人社団慈広会 介護老人保健施設メイプル非常勤音楽療法士、昭和音楽大学非常勤講師、湘南平塚看護専門学校非常勤講師、東京家政学院大学人間福祉学科非常勤講師）／伊藤 啓子（日本音楽療法学会認定音楽療法士、アメリカ音楽療法学会公認音楽療法士、昭和音楽大学客員教授）

○運営・統括

三浦 優佳（日本音楽療法学会認定音楽療法士、昭和音楽大学非常勤講師、YMCA 健康福祉専門学校、湘南医療大学非常勤講師）／赤坂 由美子（日本音楽療法学会認定音楽療法士、湖山医療福祉グループ株式会社日本ライフデザイン関係施設非常勤音楽療法士）／鈴木 裕也（日本音楽学会認定音楽療法士、藤代音楽療法臨床研究所「ぽこぽこ」非常勤音楽療法士、昭和音楽大学実習研究員）

6. 音楽療法士の施設等個別サポート

本来は訪問での個別サポートを計画していたが、感染症拡大により施設訪問が困難であったため、各施設のニーズ合わせてインターネットを活用したオンラインでの音楽療法実践、音楽活動の相談会、レクチャー、施設のニーズに対応して作成した個別教材（DVD 等）の提供、楽器の貸し出しを組み合わせたサポートをおこなった。目的は、令和元年度と同様に、各施設の個別のニーズや課題と困難さを軽減・解決し、各施設の特性に応じた音楽活動の自走をサポートすることであった。前年からの継続 3 施設を含む計 7 施設を対象とし、各施設へのサポートの提供を上限 3 回とした（前年からの施設については、前年から合わせて原則 3 回）。期間は令和 2 年 11 月～令和 3 年 3 月であった。

7. 音楽活動の動画配信

上記研修や【マニュアル資料編】・【演習編】をもとに動画を作成し配信することで、広く継続可能な音楽活動をサポートし、施設での施設職員による効果的な音楽活動の自走システムを構築することを目的とした。令和 2 年度のマニュアルおよび研修テーマに沿う活動例を VTR にまとめるとともに、実際に施設において利用者を対象として活用できる形態の VTR、そして、施設でのイベントや体操等で使用できる著作権保護の対象にあたらぬ曲の伴奏の VTR を作成した。これらの VTR は上記研修および施設等個別サポートにおいて一部紹介した。また、本事業の成果物として【マニュアル資料編・演習編】とともに年度末に県内施設に送付した。

8. 「音楽活動サポートかながわモデル」の報告

令和元年度2月、本協働事業の1年目の単年度報告および評価のためにシンポジウムを開催する予定であったが、感染症が拡大し始めた時期と重なり、やむなく中止する運びとなった。そのため、本年度は2か年の事業のまとめとして開催した。ただし、新しい生活様式を踏まえ、全面オンラインでの開催とした。

○シンポジウム概要

テーマ：高齢者施設等での音楽の活用－新しい生活様式を踏まえた健康寿命の延伸－

日 時：令和2年12月12日（土） 13：00～14：30

会 場：オンライン（zoomを使用）

申込者：39名、参加者37名

内 容：「新しい生活様式」を踏まえたうえでの高齢者施設での音楽を活かした実践や、工夫、高齢者にとっての「音楽」の存在意味について、研修担当講師を中心に話題提供をし、他職種と公開討論をしながら本事業をまとめた。

プログラムおよび登壇者：

1. 開会の挨拶

森 憲子（神奈川県高齢福祉課担当者）

羽石 英里（昭和音楽大学音楽療法研究所 所長）

2. 高齢者施設等音楽療法活用事業「健康寿命延伸に向けた高齢者施設での音楽活用事業かながわモデル」のまとめと報告

三浦 優佳（昭和音楽大学音楽療法研究所 本事業研修担当講師、統括・運営）

3. 話題提供および討論

話題提供（1）「感染症拡大防止と施設利用者の生活および心身の健康維持」

深野 広美（本事業研修担当講師）

話題提供（2）「発声・発話・呼吸・口腔・嚥下機能に働きかける音楽活動」

羽石 英里（本事業研修担当講師）

話題提供（3）「施設での実践－音楽がある意味と新しい生活様式下での工夫」

井上 美緒（本事業研修担当講師）

指定討論

松尾 美佐子（前社会福祉法人県央福祉会国分寺台地域包括支援センター管理者）司会：

伊藤 啓子（本事業研修担当講師）

《音楽教育研究所》

【2020年度研究員】

所長

江口 文子 昭和音楽大学教授

研究員（五十音順）

飯田 佐恵 昭和音楽大学准教授

石川 亮子 昭和音楽大学准教授

石田 麻子 昭和音楽大学教授

奥村 晃博 昭和音楽大学教授

川染 雅嗣	昭和音楽大学教授
岸田 生郎	昭和音楽大学教授
鈴木 二美枝	昭和音楽大学短期大学部教授
角南 篤	昭和音楽大学音楽教育研究所特別研究員
豊住 竜志	昭和音楽大学准教授
林 眞砂子	昭和音楽大学非常勤講師
林田 枝実	昭和音楽大学准教授
益田 トッシュ	昭和音楽大学非常勤講師
満江 菜穂子	昭和音楽大学専任講師
森 篤史	昭和音楽大学短期大学部専任講師

● 2020年度の実施内容

2020(令和2)年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、プラスワン講座は中止をした。

○「推薦音楽会」

附属音楽・バレエ教室の4歳～高校3年生までのピアノ・声楽・弦・管・打楽器等を専攻している生徒のうち、オーディションにて選出された生徒を出演対象として「推薦音楽会」を開催している。実力のある優秀な生徒の幼少期から中高生までの演奏力・技術力等の成長について研究課題としている。令和2年度に関しては2月28日に開催、オーディションに出演した51名のうち36名が参加した。

○「特別レッスン」

附属音楽・バレエ教室の生徒のうち、前年度の推薦音楽会出演者及び前年度の特別レッスン受講者を対象に大学教員が定期的にレッスンを実施している。音楽・バレエ教室の進学コースに在籍している高校2年生以上で本学への進学を希望している者のうち、主科実技担当講師が本学の兼務教員でない生徒については、本人の希望により特別レッスンを受講した。

主な研究内容は、レッスン内容・指導法、受講している生徒の音楽的・テクニクの上達度となっており、その研究成果を踏まえ、どのように学生に還元していくのかを検討している。

令和2年度における受講者は18名(ピアノ12名、ヴァイオリン1名、フルート2名、サクソフォン2名、トロンボーン1名)であった。

○「プラスワン講座」

附属音楽・バレエ教室で開催するピアノのグレード制度「ステップアップ」の審査に付してミニ講座・ミニコンサートを実施している。さまざまなテーマを用いて音楽を幅広い年齢層のピアノ学習者に多角的に伝えることを研究課題としているが令和2年度に関してはコロナ禍において感染拡大防止の観点から実施を見送った。

《ピリオド音楽研究所》

ピリオド音楽研究所は、ピリオド音楽およびピリオド演奏の研究を目的とする。

【2020年度研究員】

所 長

有田 正広 昭和音楽大学客員教授
研究員（五十音順）
有田 栄 昭和音楽大学教授
江崎 浩司 昭和音楽大学非常勤講師
菊池 奏絵 昭和音楽大学非常勤講師
黒田 隆 昭和音楽大学客員教授
藤田 真頼 昭和音楽大学准教授
増村 修次 昭和音楽大学非常勤講師
満江 菜穂子 昭和音楽大学専任講師
宮村 和宏 昭和音楽大学非常勤講師
森田 学 昭和音楽大学准教授
築瀬 進 昭和音楽大学教授、大学・短期大学部学長

● 2020年度実績

- ・ 2020年12月19日(土) 第27回公開講座

『フルート奏法の歴史』

内容／過去から現在に伝えられてきた音楽。それらをどのように受け止め演奏するで
きか、過去の図版や教本、楽器、音楽家の残した言葉などをもとに音楽に向き合う根
源的な態度から具体的な奏法まで広く考察した。

講師：有田 正広（客員教授／所長）

会場：C511 階段教室

入場者：54名

※ 新型コロナ感染症の影響により、1回のみで開催となった。

《附属音楽・バレエ教室》

2020年度において幼児（2歳）から中高年層まで幅広い年齢層を対象として音楽・バレエ教室を展開している。教室は新百合ヶ丘校（大学内）、小田原校、センター北校、南大沢校、本厚木校、藤沢校、戸塚校、仙台校、武蔵小杉校の9校。2021年3月時点において約3,100名が在籍している。但し南大沢校に関しては老朽化と在籍者の減少が見られ、移転先の検討を行ったものの同地域の人口動態の変化に伴い将来にわたって運営を継続することが困難と判断し2021年度内に拠点を閉じることとした。

音楽の各分野では幼児音楽教育、ソルフェージュ、選科（ピアノ、弦・管・打楽器、声楽、作曲）、大人の音楽レッスン（選科と同科目）、忙しい方のための音楽レッスン（選科と同科目）、ポピュラー音楽、電子オルガンでアンサンブル、大人の連弾、ジャズピアノ、のんびりジャズピアノ、ギターアンサンブル、グループヴォーカル、ウェイクアップヴォーカル、ヴォーカルトレーニング、ジャズヴォーカル、カンツォーネ、シャンソン、爽快ベルカント、青春のポップスコラス、童謡を歌おう、日本語で歌おう、楽しくオペラを歌おう、歌声サロン、発声から始める歌謡曲、文化箏、二胡、ウクレレ等のコース、並びに舞台芸術の分野ではバレエ、ミュージカル、ミュージカルヴォーカル、ジャズダンス、キッズダンス、ダンシング・フラ、大人のストレッチ、等、また、教養講座としてイタリア語コースや朗読サロンコースなどがある。令和2年度よりリコーダーアンサンブル、日本歌曲を歌おう、を開設。

2020年度においては新型コロナウイルス感染防止対策のために4月~5月において休講の措置を行ったものの、6月からレッスンを再開するとともにオンライン・レッスンの活用等によって対策を講じた。

《附属ピアノアートアカデミー》

附属ピアノアートアカデミーは、音楽家を志す人の技術や表現力の向上のみならず、各々の個性がさらに輝き、ステージに生かされるための人間性を養うことにも重点を置き、真に魅力あふれる音楽家の育成を目的として開設された。2020年度時点では小学生から本学の卒業生まで、幅広い年齢層の人たちが各地から通っており、在籍生は同じ目標を持つ人同士、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深め、お互いに刺激しあいながら日々学んでいる。江口文子主任教授が中心となって指導を行うこととその実績により、現在では本邦を代表する教育機関として国際的に知られるようになった。昭和音楽大学・同短期大学部において学修機会を得たい学生の増加やその質の向上に寄与している。

2020年度においてはショパン国際ピアノコンクール（ワルシャワ）予備予選及び本選への出場の権利を持っている在籍者が世界的に最も多い機関として注目され、コロナ禍でありながらコンサート、メディア出演が多く充実した活動を行うことが出来た。

●2020年度の主な活動内容

- ・**特別演奏コース**：コロナ禍において4月~5月においては基本的には活動を休止した。但し、オンラインでのメディア出演が必要な在籍者に関しては適宜、オンラインでのレッスンを行った。定期的に個人レッスン、ソルフェージュクラス、招聘教員によるレッスンや講座を実施した。
- ・**ピアノ総合コース**：月1回の特別レッスンを実施した。小学2年生~高校3年生を対象にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、感性と教養を養うためのクラスのほか、3月には成果発表会も開催した。
- ・**研究コース**：レッスン、アンサンブル、ソルフェージュ、キャリア形成の支援を行った。
- ・**プロフェッショナル・ミュージック・アカデミー**：2020年8月26日~28日の3日間、集中型のピアノとアンサンブルのマスタークラスを開催。指導陣については江口文子教授、菊地麗子客員教授、杉本安子客員教授、篠崎史紀客員教授、桑田歩客員教授、ケビン・ケナー氏、清水潔氏、角南篤氏。「プロフェッショナルの音楽家を育成するためには何が必要か」をコンセプトに、未来を生きる若いピアニストを対象に企画運営。受講生は10才~25才、受講生と聴講生合わせて54名が参加した。来日が出来なかったケビン・ケナー氏には海外より遠隔でのレッスンや講座を行い大変好評であった。
- ・**2020年度における在籍者のコンサート出演**：コロナ禍で多くのコンサートが中止、延期となったがその中でも在籍者のコンサートへの出演は40回を超えている。主な出演内容については次の通り。

- 2020/5/3 丸の内 GW ミュージックフェスティバル 2020 (オンライン)
- 2020/8/2 N 響・夏のフレッシュコンサート～音楽でふれあおう～ @NHK ホール
- 2020/8/6 フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2020 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
『ベートーヴェン生誕 250 年～ベートーヴェン・ピアノ協奏曲づくし!～』
@ミュージザ川崎シンフォニーホール
- 2020/8/24 Yamaha Rising Pianists Concert Vol.4 @ヤマハホール
- 2020/8/31 牛田智大 ピアノ・リサイタル @サントリーホール
- 2020/9/19 古海行子ピアノコンサート @淡路島市立サンシャインホール
- 2020/9/22 パデレフスキ国際ピアノコンクール入賞記念公演 (YouTube Live)
- 2020/10/24 テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ 第 21 回定期演奏会
@テアトロ・ジーリオ・ショウワ
- 2020/11/20 国際音楽祭<ヤングプラハ >イン東京コンサート @東京チェコ大使館
- 2020/12/17 古海行子ピアノリサイタル～桑田歩氏を迎えて～ @ヤマハホール
- 2020/12/20 牛田智大 ピアノ・リサイタル @愛知県芸術劇場コンサートホール
- 2021/1/1 第 31 回高崎元旦コンサート @高崎芸術劇場
- 2021/1/10 ニューイヤー・ガラ～コンチェルトの日～
@新潟市民芸術文化会館コンサートホール
- 2021/1/16 すばるイブニングコンサート 50 回突破記念 第 18 回ショパン国際ピアノ
コンクール壮行演奏会 @すばるホール 2 階ホール (大阪)
- 2021/2/7 読売日本交響楽団 華麗なるショパン & 「展覧会の絵」@ライブポートとよはし
- 2021/2/19,20 新日本フィルハーモニー交響楽団 定期演奏会ルビーアフタヌーンコンサート
@すみだトリフォニーホール
- 2021/2/23 KAWAI PREMIUM CONCERT@アクトシティ浜松 中ホール
- 2021/2/26 ニューアーティスト・アフタヌーンコンサート 2021 @カワイ表参道パウゼ
- 2021/2/27,28 第 565 回定期演奏会 東京公演 群馬交響楽団 @高崎劇場 大劇場、
すみだトリフォニーホール
- 2021/3/16 第 4 回ネクストヴィルトゥオーゾ ピアノリサイタル
@ヤマハ銀座コンサートサロン
- 2021/3/21 ニューアーティスト・アフタヌーンコンサート 2021 @カワイ表参道パウゼ
- 2021/3/24 ニューアーティスト・アフタヌーンコンサート 2021 @カワイ表参道パウゼ
- 2021/3/28 サンデー・ブランチ・クラシック @eplus LIVING ROOM CAFE & DINING
- 2021/3/28 ピティナ・ピアノコンペティション 入賞者ガラコンサート@第一生命ホール

学園創立 80 周年に関する事業

《東成学園 80 年史の編纂》

2020 年度は 1930 年「下八川圭祐音楽研究所」の設立から 90 年、1940 年 4 月東京声専音楽学校が開校されてから 80 年を迎えた記念すべき年であった。当初は同侪会と共に様々なイベントを伴う周年事業を計画していたもののコロナウイルス感染拡大防止をしながら学修環境、支援に学園の総力を注ぐこととなり計画していた事業については中止、延期を余儀なくされた。そのような状況の中で 2001 年 3 月の東成学園 60 周年史発刊から 20 年を経、『東成学園 80 年史』を編纂した。2020 年 4 月より『東成学園 80 年史』の編纂の作業を開始し、編纂委員会を 5 回、80 年史ワーキンググループの会合を 20 回（zoom を利用）行った。

『東成学園 80 年史』の主な内容としては、2001 年に上梓された 60 周年史 1940 年~2000 年を第 1 章から第 5 章として踏襲し、2000 年~2019 年について第 6 章から第 8 章として構成した。

巻頭にはこれまでのキャンパスの変遷について写真を用いながら、思い出深い東京声専音楽学校、旧厚木キャンパス、そして現在の新百合ヶ丘キャンパスを紹介した。さらに東成学園を形作った偉人として下八川圭祐、マンフレット・グルリット、ハンス・レーヴライン、砂原美智子、粟国安彦を取り上げて学園のフィロソフィーを伝えた。またこれまでの主な演奏会、公演、招聘教授のデータとして納め合計 188 ページとなった。

本学にとって 2000 年以降の 20 年間は旧厚木キャンパスから新百合ヶ丘キャンパスへの移転、テアトロジーリオショウワ（劇場）の設置、国際コンクールやコンサート、ライブ活動で活躍をする多くの人材輩出等、極めて充実した活動を伴い多くの成果を上げることができ、国内外での評価を飛躍的に高めた時期であった。

2020 年の学園創立 80 年の節目の年に教職員が協働して『東成学園 80 年史』を創る作業を行ったことは単に学園の歴史を留めるだけではなく、その歴史が我々の普段の業務に繋がって発展をしていることを実感することとなった。結果としてモチベーションを高め、学園の将来を語り合うきっかけとなった。

『東成学園 80 年史』は 2021 年 3 月に完成し、学園の運営に協力していただいている方、在学生、教職員、に配布を行った。同侪会の経済的支援を含めた多大なるご協力があって、刊行できたことを感謝とともに報告したい。

【東成学園 80 年史編纂委員】

〔編纂委員長〕 的場 辰朗

〔編纂委員〕 黒田 隆 酒巻 和子 下八川 公祐 鈴木 清 中村 佳子 八尋 久仁代

【東成学園 80 年史ワーキンググループ】

下八川 公祐 工藤 純美 高橋 節子 山崎 理紗 吉原 潤 渡邊 亮 有田 奈緒

●2020年度は新型コロナウイルスの蔓延により、プロジェクトによっては大幅に見直しが必要となるものがありました。2021年3月の進捗状況を受け、進捗状況が目標に到達できていなかったもの13件に関して見直しを行い、2021年度の取組として変更案を作成、これに基づき本年度は取り組んでいくこととなりました。進捗状況が目標に達しているものについては、引き続き当初予定通り進めてまいりたいと思っております。

		2020年度 進捗状況															
プロジェクト	重点施策	具体的な取組み事業	2020計画	2020実績	達成	行動計画(アクションプラン)	主管部署	アクションプラン細分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度進捗状況と2021年度取組予定			
1	プロジェクト① 教育の質の向上	A 教育課程の改革	カリキュラムの見直し	20%	10%	▼	文理融合科目、STEAM科目、創造性を育成する教育、データサイエンス教育の導入	学務部教務課(作曲・舞スタ・JP合同部会)						現状、内容はまだ決まっていない。本年度は、音楽大学としてSTEAM教育をどのようにカリキュラム化していくか構想し、専門家を交え話し合うことでブラッシュアップしていく。			
2				アカデミックカレンダーの見直し	30%	5%	▼	アカデミックカレンダーの見直し	学務部教務課						一部科目については、通年から半期×2へ見直しを図り運用を行ってみることとした。引き続き、通年から半期×2へ見直し検討・運用の準備。2023年度新学期制完全実施に向けて準備を行う。		
3	B 教育手法の改善	ICT教育の推進	ICT教育の推進	25%	25%	△	Society 5.0時代の音楽、舞台芸術のための教育・研究環境づくり	IT推進委員会	①A/B/C棟の1F～6Fに必要な設備備品の設置					当初予定通り			
4				アクティブラーニングの推進	25%	25%			△	②電子媒体教材(コンテンツ)の充実と発展						当初予定通り	
5				オンライン学修の推進	25%	25%			△	③ICTとオンライン教育、アクティブラーニングに活かす授業の一部をキャッシュ化						当初予定通り	
6	C 学修支援の強化	学生支援センターの設置	学生支援センターの設置	50%	5%	▼	学生支援センターの設置	学務部/総務部						2020年度はコロナ対応が先決であったため具体的なところまで進むことができなかった。本年度は、学生支援センターの在り方を話し合い・検討することから始め、運用に向けて準備を進めたい。			
7				練習室の活用	40%	40%	△	練習室の活用	総務課						当初予定通り		
8	D キャリア教育の充実	キャリア教育の充実	キャリア教育の充実	25%	0%	▼	施設設備の充実	新規プロジェクト①	①施設見える化リプレットの作成						検討中		
9				②改善提案書を作成												施設の稼働の現状を調査、ヒアリングの実施と改善(改善計画の策定)	
10				③採択された提案を実施													改修の実施
11				キャリア教育の充実	35%	27%			▼	キャリア教育の充実	キャリアセンター						進捗が遅れているキャリア科目の検証・見直し・新設科目の検討を行う。海外留学支援については、社会状況を見ながらの検討となる。
12	プロジェクト② 成長戦略の推進	A 学生募集の強化	学生募集の強化	27%	27%	△	学生募集専用システムの導入、入試制度の見直し、学生募集イベントの充実	入試広報室	①学生募集専用システムの導入					当初予定通り			
13				②入試制度の見直し											当初予定通り		
14				③学生募集イベントの充実												当初予定通り	
15	B 社会連携、大学間連携の推進	社会連携、大学間連携の推進	20%	20%	△	社会連携、大学間連携の推進	企画・IR推進室						当初予定通り				
16	C 新たなコース・プログラムの開発	新たなコース・プログラムの開発	新たなコース・プログラムの開発	20%	20%	△	大学・短大・大学院の新コースの開発、教育課程外での新しいプログラムの開発	企画・IR推進室	①教育課程内の新コースの検討					当初予定通り			
17				②教育課程外の新プログラムの検討												当初予定通り	
18				③新コース・プログラムの運用開始													当初予定通り
19	D 「本学ならではの価値」の明確化	「本学ならではの価値」の明確化	「本学ならではの価値」の明確化	20%	12%	▼	附属教室の新コース立ち上げ	附属音楽・バレエ教室						市場調査、新コースの精査と選定及び講師探し、既存コースの見直し、新コース5コース立ち上げ。広報戦略の構築と実施及び生徒獲得(目標・40名)。			
20				「面倒見の良い大学」の見える化	20%	10%	▼	「面倒見の良い大学」の見える化	入試広報室						学生への支援策については一部ガイドブックに掲載している(朝食支援、練習室数、キャリア支援講座等)が全てではないため引き続き本学の価値を洗い出し、および各専大へのアンケートの実施の検討。		
21	プロジェクト③ 教職員すべてが能力を発揮できる環境の醸成	A 人事制度改革	人事制度改革	20%	15%	▼	人事制度改革	人事課						情報収集が不十分であったため、引き続き収集と検討を行い、目標管理シートの試験運用を目指す。			
22	B 業務の効率化	業務の効率化	10%	10%	△	業務の効率化	新規プロジェクト②							当初予定通り			
23	C 「研究」「研修」時間と機会の拡充	「研究」「研修」時間と機会の拡充	-	0%	▼	「研究」「研修」時間と機会の拡充	企画・IR推進室							2020年度は検討を行うことができなかったため、本年度からの取組となる。「人事制度改革」「業務の効率化」の状況把握のため、関連部署との意見交換。FD研修の一つのテーマとして進めていきたい。			
24	プロジェクト④ 安定的な財務基盤の確保、IR(インスティテューショナル・リサーチ)の活用	A PDCAサイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し	PDCAサイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し	10%	10%	△	収支分析を軸とした、各事業の効果検証	企画・IR推進室/経理部						当初予定通り			
25				所有施設のPDCA	企画・IR推進室/経理部/総務課										現状の調査と海外研修の見直し案作成。		
26				附属教室の運営効率化	企画・IR推進室/経理部/附属音楽・バレエ教室											当初予定通り	
27	B IR機能の強化	IR機能の強化	20%	20%	△	IR機能の強化	企画・IR推進室						当初予定通り				
28	プロジェクト⑤ 組織の活性化	A ガバナンスの強化	ガバナンスの強化	20%	20%	△	学内規程の整備と強化	学務部/総務部						当初予定通り			
29				B UD、BD、FD、SDの推進	UD、BD、FD、SDの推進	40%	40%	△	UD、BD、FD、SDの推進	企画・IR推進室					当初予定通り		
30	C 学生の大学運営への参加	学生の大学運営への参加	60%	0%	▼	学生の大学運営への参加	学務部教務課						2020年度については学生の生活・修学状況の将来像を見極める事が大変困難であったため、1年ずらして取り組む。				

資金収支の状況

(財務に関する中長期計画)

収入の部

科 目	決算		決算		決算		決算		補正予算		予算書より	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
学生生徒等納付金収入	2,895,187	2,819,171	2,858,566	2,950,666	3,164,343	3,187,468	3,167,145	3,089,390	3,044,475	3,053,715		
手数料収入	27,245	28,463	28,948	31,114	31,898	31,879	31,879	31,879	31,879	31,879		
寄付金収入	630	9,574	14,631	1,654	2,112	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335		
補助金収入	413,861	334,662	366,314	355,137	343,754	319,844	319,844	319,844	319,844	319,844		
資産売却収入	1,803,083	1,104,734	1,009,879	1,084,983	412,572	201,656	201,656	201,656	201,656	201,656		
付随事業・収益事業収入	575,499	584,938	638,645	547,052	514,998	579,584	579,584	579,584	579,584	579,584		
受取利息・配当金収入	11,161	11,552	7,933	4,412	3,017	2,364	2,364	2,364	2,364	2,364		
雑収入	220,650	90,611	159,571	141,242	88,830	108,739	141,271	154,241	130,270	104,700		
前受金収入	713,365	705,274	776,695	853,111	703,375	698,291	679,666	669,785	671,817	671,817		
その他の収入	156,768	472,526	137,106	216,398	196,790	158,433	180,158	212,690	265,660	191,689		
資金収入調整勘定	△ 874,762	△ 779,560	△ 839,749	△ 887,909	△ 929,446	△ 801,435	△ 828,883	△ 823,228	△ 789,376	△ 765,838		
経常的収入小計	5,942,687	5,381,945	5,158,539	5,297,860	4,532,243	4,489,158	4,477,019	4,440,540	4,460,509	4,393,745		
前年度繰越支払資金	3,471,372	3,275,363	3,220,448	3,436,865	3,542,058	3,652,677	3,645,598	3,783,814	3,985,288	3,888,742		
収入の部合計	9,414,059	8,657,308	8,378,987	8,734,725	8,074,301	8,141,835	8,122,617	8,224,354	8,445,796	8,282,487		

支出の部

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費支出	2,339,896	2,145,641	2,217,902	2,222,776	2,155,608	2,232,667	2,257,946	2,270,916	2,246,945	2,221,375
教育研究経費支出	800,025	820,829	807,311	867,277	864,915	860,357	860,357	860,357	860,357	860,357
管理経費支出	539,051	589,564	545,397	596,802	581,477	589,299	589,299	589,299	614,299	589,299
借入金等利息支出	33,882	29,977	26,072	22,167	17,691	14,358	10,452	6,547	2,642	548
借入金等返済支出	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	22,880
施設関係支出	4,860	100,344	562	24,378	29,729	18,750	25,000	25,000	25,000	25,000
設備関係支出	67,489	132,915	28,836	252,119	115,961	322,193	138,992	123,752	257,492	157,792
資産運用支出	2,100,000	1,400,001	1,100,000	860,751	410,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
その他の支出	216,174	230,047	248,190	278,933	189,403	203,898	202,042	202,042	295,604	202,042
資金支出調整勘定	△ 152,220	△ 201,998	△ 221,688	△ 122,076	△ 132,700	△ 134,825	△ 134,825	△ 228,387	△ 134,825	△ 134,825
経常的支出小計	6,138,697	5,436,860	4,942,122	5,192,667	4,421,624	4,496,237	4,338,803	4,239,066	4,557,054	4,144,468
翌年度繰越支払資金	3,275,363	3,220,448	3,436,865	3,542,058	3,652,677	3,645,598	3,783,814	3,985,288	3,888,742	4,138,019
支出の部合計	9,414,059	8,657,308	8,378,987	8,734,725	8,074,301	8,141,835	8,122,617	8,224,354	8,445,796	8,282,487

資金収支の状況

(財務に関する中長期計画)

収入の部

科 目	決算		決算		補正予算		予算書より			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	2,895,187	2,819,171	2,858,566	2,950,666	3,164,343	3,187,468	3,167,145	3,089,390	3,044,475	3,053,715
手数料収入	27,245	28,463	28,948	31,114	31,898	31,879	31,879	31,879	31,879	31,879
寄付金収入	630	9,574	14,631	1,654	2,112	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335
補助金収入	413,861	334,662	366,314	355,137	343,754	319,844	319,844	319,844	319,844	319,844
資産売却収入	1,803,083	1,104,734	1,009,879	1,084,983	412,572	201,656	201,656	201,656	201,656	201,656
付随事業・収益事業収入	575,499	584,938	638,645	547,052	514,998	579,584	579,584	579,584	579,584	579,584
受取利息・配当金収入	11,161	11,552	7,933	4,412	3,017	2,364	2,364	2,364	2,364	2,364
雑収入	220,650	90,611	159,571	141,242	88,830	108,739	141,271	154,241	130,270	104,700
前受金収入	713,365	705,274	776,695	853,111	703,375	698,291	679,666	669,785	671,817	671,817
その他の収入	156,768	472,526	137,106	216,398	196,790	158,433	180,158	212,690	265,660	191,689
資金収入調整勘定	△ 874,762	△ 779,560	△ 839,749	△ 887,909	△ 929,446	△ 801,435	△ 828,883	△ 823,228	△ 789,376	△ 765,838
経常的収入小計	5,942,687	5,381,945	5,158,539	5,297,860	4,532,243	4,489,158	4,477,019	4,440,540	4,460,509	4,393,745
前年度繰越支払資金	3,471,372	3,275,363	3,220,448	3,436,865	3,542,058	3,652,677	3,645,598	3,783,814	3,985,288	3,888,742
収入の部合計	9,414,059	8,657,308	8,378,987	8,734,725	8,074,301	8,141,835	8,122,617	8,224,354	8,445,796	8,282,487

支出の部

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費支出	2,339,896	2,145,641	2,217,902	2,222,776	2,155,608	2,232,667	2,257,946	2,270,916	2,246,945	2,221,375
教育研究経費支出	800,025	820,829	807,311	867,277	864,915	860,357	860,357	860,357	860,357	860,357
管理経費支出	539,051	589,564	545,397	596,802	581,477	589,299	589,299	589,299	614,299	589,299
借入金等利息支出	33,882	29,977	26,072	22,167	17,691	14,358	10,452	6,547	2,642	548
借入金等返済支出	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	22,880
施設関係支出	4,860	100,344	562	24,378	29,729	18,750	25,000	25,000	25,000	25,000
設備関係支出	67,489	132,915	28,836	252,119	115,961	322,193	138,992	123,752	257,492	157,792
資産運用支出	2,100,000	1,400,001	1,100,000	860,751	410,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
その他の支出	216,174	230,047	248,190	278,933	189,403	203,898	202,042	202,042	295,604	202,042
資金支出調整勘定	△ 152,220	△ 201,998	△ 221,688	△ 122,076	△ 132,700	△ 134,825	△ 134,825	△ 228,387	△ 134,825	△ 134,825
経常的支出小計	6,138,697	5,436,860	4,942,122	5,192,667	4,421,624	4,496,237	4,338,803	4,239,066	4,557,054	4,144,468
翌年度繰越支払資金	3,275,363	3,220,448	3,436,865	3,542,058	3,652,677	3,645,598	3,783,814	3,985,288	3,888,742	4,138,019
支出の部合計	9,414,059	8,657,308	8,378,987	8,734,725	8,074,301	8,141,835	8,122,617	8,224,354	8,445,796	8,282,487